

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

名古屋大学整形外科では附属病院を通じ、患者さんに適切な医療を提供すべく努力を行っております。その一環として、このたび患者さんの臨床情報をもとに医学研究を実施しております。本研究は厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」を順守して行われます。

研究課題名：色素性絨毛結節性滑膜炎における蛋白発現と臨床成績の関連についての検討

施設研究代表者 西田佳弘（名古屋大学医学部医学系研究科運動形態外科学講座整形外科学）

1. 研究の意義

色素性絨毛結節性滑膜炎の蛋白発現の組織学的評価と臨床成績の関連に関する研究はこれまでに報告されていません。骨関節破壊や再発といった臨床成績に関連する蛋白を明らかにすることにより、リスクの高い集団に対してより適切な経過観察が行えるようになります。

2. 研究の目的

色素性絨毛結節性滑膜炎の蛋白発現の組織学的評価と臨床成績の関連に関する研究はこれまでに報告されていません。この研究は、色素性絨毛結節性滑膜炎症例について、組織における蛋白発現と臨床因子との関連を検討することを目的とします。

3. 研究の対象

1987年から2014年にかけて当院を受診し手術治療を行った色素性絨毛結節性滑膜炎の患者さんを対象とします。

4. 研究の方法

色素性絨毛結節性滑膜炎症例の生検、手術における既存検体から各種蛋白発現について組織学的検討を行います。診療情報と治療成績（患者の年齢、性別、発生部位、大きさ、組織型、再発、骨関節破壊の有無と程度）を調査時点で診療録から過去にさかのぼって抽出し、蛋白発現との関連をカイ二乗検定、COX回帰分析を用いて解析します。再発、予後についてもカイ二乗検定、カプランマイヤー法、ログランク検定による解析を行います。

5. 対象者個人情報の保護について

情報は連結可能匿名化を行い、パスワードロックのついたハードディスクに保管します。連結表は別のパスワード保護をおこなったハードディスクに保管します。

6. 研究結果の公表

結果は、整形外科または腫瘍関連学会において発表し論文発表する予定です。公表については個人を特定できないような形でおこないます。個人の検査結果等に関する開示は行わない予定です。診療情報の利用について希望されない場合は、その方のデータをこの研究から除外して研究をおこないます。

7. 利益相反およびバイアスの排除について

本研究に関する利益相反はありません。適切な臨床研究の遂行等の観点から、バイアスを排除し結果を公正に評価するため査読のある雑誌に投稿する予定です。

8. お問い合わせ先

名古屋大学医学部医学系研究科運動形態外科学講座整形外科学 准教授 西田佳弘

連絡先：名古屋大学医学部整形外科教室

〒466-8550

名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL 052-744-1908、 FAX 052-744-2260

苦情等の受付先：名古屋大学医学部総務課 TEL052-744-1901